

04 犯罪被害者に寄り添う（犯罪被害者）

（ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、徳永玲子がお届けします。今日のタイトルは「犯罪被害者に寄り添う」です。

犯罪被害者とは、殺人や傷害、性犯罪などで被害を受けた人のことをいいます。犯罪被害に遭うのは、とてもつらく悲しいことです。心にも大きな傷を負い、突然のことに、それまでの日常生活が送れなくなることもあります。寝られなくなったり、人に会うことが怖くなったり、そのときの恐怖がよみがえるフラッシュバックを起したり、無力感や孤独感に襲われたりして、長い間、苦しむ人もいます。

さまざまな犯罪被害相談の中で、最も多いのが性犯罪に関するものです。子どもから大人まで、年齢や性別を問わず、犯罪被害者をサポートしている福岡犯罪被害者支援センターの相談員にお話を伺いました。

【相談員役】犯罪被害に遭った方の中には、気持ちにフタをして「あつたことをなかつたことにして」、他人に気づかれなように無理して笑って生きている人も少なくありません。一方で、被害を受けたことについて勇気を出して話した人を、

25 周りからの言葉がさらに傷付け、苦しめてしまうことがあります。

（それぞれ異なる声のトーンで）
「どうしてそんなところに行ったの？」
「気にしすぎじゃない？」
「早く忘れて、気持ちを切り替えて頑張って」

30 （ナレーター）たとえ良かれと思っても、このような言葉
によって、犯罪被害者は「自分に落ち度があったんだ」「心が
弱いからダメなんだ」と自分を責め、他人と関わることを恐
れてますます孤独感を深めていきます。

40 【相談員役】性犯罪被害に遭った方だけでなく、犯罪の被害
に遭ったことを、ずっと一人で悩んでいる人も少なくありま
せん。周りの人にしてほしいのは、声を上げた人に寄り添っ
て話を聞き、「話してくれてありがとう」「あなたのせいでは
ない」と「味方」になることです。こちらの考えや知識
を押しつけず、急かさず、「話せるときに話してね」といつ
た、相手のペースに合わせた声かけが大事です。

45 （ナレーター）被害に遭った方の中には第三者に話す方が気
が楽になる人、医師などの専門家が必要な人もいます。福岡
犯罪被害者支援センターのように、電話で相談できる専門的
な場所があることを伝えるのも、周りができるサポートの一

つです。

50

(本文919字)